



第二十九回日本臨床内科医学会

内科臨床 明日への道標



本朝水滸傳第八百八十一回
膳臣巴提使

勇齋
國芳画

加藤清正の虎退治
あるとき、清正の陣の近くに虎が現れ、兵を喰われさらけたりする事を知られたりといつた事件が起きた。これに激怒した清正は自ら山狩りを行入、ついに巴の虎と遭遇する。激戦を誇つた清正は虎を打とうとするが、あえて自ら虎に立ち向かつた清正は、虎を虎の胸に突きこんで殺害した、という。
作者 歌川国芳 『本朝水滸傳第八百八十一回 膳臣巴提使』
森宮古美術・古美術もりみや所蔵

会期
2015年
10/11日・12日 月祝

会場 ホテル日航熊本

会長 河北 誠 実行委員長 藤山 重俊